

リアル展示会への出展に積極姿勢戻る。大幅出展増へ!

国内最大級の「危機管理」総合トレードショー 今秋10月開催へ 最終申込受付中

『危機管理産業展(RISCON TOKYO)』と『テロ対策特殊装備展(SEECAT)』が、10月5日(水)から7日(金)の3日間で開催される。今回は東京ビッグサイト西1・2ホールでの開催となり、同会場での開催は2018年以来的4年ぶりとなる。

本年は「コロナ禍以前に出展していた企業からの申込が増加。オンラインだけの営業活動には限界」と、ここ2年はリアル展の出展を控えていた企業からの積極姿勢が目立つ。5月以降、出展申込や小間の空き状況の問い合わせが日を追うごとに増している。事務局では、出展を検討している団体・企業については早めの小間確保をしてほしいとしている。

Withコロナに対応した複合的な「危機管理」を提案

RISCONには、社会活動を取り巻くあらゆる課題やリスクに対処するための製品・サービスが一堂に集結する。主要3分野として掲げる「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」では、時宜に合ったキーワードを特別テーマとしてピックアップ。連動したセミナーを開催することで、関心の高い来場者を誘致し、出展者とのマッチングを強化する。

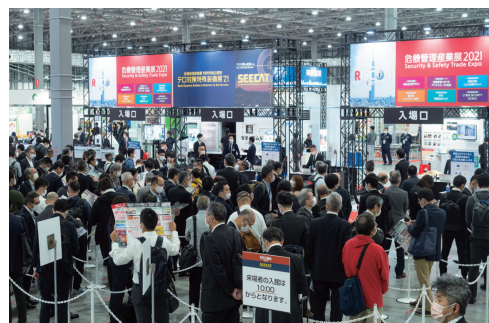
加えて、併催企画「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」「危機管理ドローンソリューション」「企画展「感染症対策TECH」」を、主要3分野を横断する3つの注目分野として設定。いずれも、コロナ禍で変化し続けるビジネスシーンに向けた新たな危機管理を提案する。

本展はブース出展だけでなく、マッチングを促進するための主催者企画や来場者参加型企画も充実する。50セッションを超えるセミナーや製品の実演・体験エリア、予約制の商談ラウンジ、普段目にすることができない特殊車両展示や実演観覧など、多数の企画を進めている。

防災・減災

大規模災害を見据えて 官民一体で備える

昨年7月に発生した記録的豪雨による熱海市伊豆山土石流災害。令和4年の大雪とも呼ばれる昨年末から3月にかけての記録的な豪雪。今年に入ってから以降、全国各地で頻発する地震。災害大国である日本は毎



年自然災害の脅威にさらされており、災害への対策意識は増している。日常的な備えはもちろんのこと、今後40年以内に90%の発生率と目される南海トラフ地震や首都直下地震といった大規模災害に対する防災・減災の取り組みを官民あげて進めていく必要がある。RISCONの「防災・減災」分野では、あらゆる災害から命を守り、被害を最小限に抑えるための製品・機器・サービスを提案する団体・企業など数年ぶりに活況が戻った。

「気象災害対策」では、近年多発している豪雨・台風などの気象災害や二次災害への対策製品にフォーカス。アンリツは災害時の防災情報収集をサポートする映像情報システムで初出展を決めた。同じく初出展の右川ゴム製造所は耐水用高機能ハッキンを展示。阪神素地はスピーディーな着脱可能な防災即応ウエスターや防災長靴等で復活出展し、フアロージャパンもモタタの出展となる。トールハツは大型ブースで消防車両や

年自然災害の脅威にさらされており、災害への対策意識は増している。日常的な備えはもちろんのこと、今後40年以内に90%の発生率と目される南海トラフ地震や首都直下地震といった大規模災害に対する防災・減災の取り組みを官民あげて進めていく必要がある。RISCONの「防災・減災」分野では、あらゆる災害から命を守り、被害を最小限に抑えるための製品・機器・サービスを提案する団体・企業など数年ぶりに活況が戻った。

「気象災害対策」では、近年多発している豪雨・台風などの気象災害や二次災害への対策製品にフォーカス。アンリツは災害時の防災情報収集をサポートする映像情報システムで初出展を決めた。同じく初出展の右川ゴム製造所は耐水用高機能ハッキンを展示。阪神素地はスピーディーな着脱可能な防災即応ウエスターや防災長靴等で復活出展し、フアロージャパンもモタタの出展となる。トールハツは大型ブースで消防車両や

クは特殊技術による画期的な地震対策を展示する。東京都中小企業振興公社ブースは本年も最大小間で出展。防災技術で社会に貢献する都内中小企業が多数集まる予定だ。やまぐち産業振興財団も前回から小間数を大幅に増やし、山口県企業の防災・減災技術をPRする。

本分野では特別テーマと題し、3つのカテゴリーをピックアップし集中展示する。「避難所・備蓄品/帰宅困難者対策」では避難所の環境改善からオフィスでの帰宅困難者対策として必要となる製品・サービスなどだ。トラスティアは防災製品専門のECサイト「JB SHOP」を紹介。簡易組立ベッド/パーテーションのウチヤマコーポレーション、1分を組み立て可能な段ボールベッドのKEIKAコーポレーションが今回も出展を決めた。埼玉通商は、シャワー室やトイレなど幅広い運用が可能なワンタッチ式トイレを展示。いずれもスピーディーな避難所設置を後押しする。多くの人が集まる避難所では、トイレや臭いの対策も必要だ。クリン化成は非常用トイレセット、まいにちは災害用簡易トイレを展示し課題解決をサポートする。

ゴムボート等を展示するなど「災害に強いまちづくり」をテーマに次世代の防災をトータルで提案する。



BCP・事業リスク対策

問われる企業の危機対応 コロナ禍でBCPの見直し進む

災害や事故など事業活動を取り巻くリスクは年々複雑化・多様化している。BCP(事業継続計画)が官民問わず必須となっており、RISCONの来場者からも「BCPを見直したい」というリクエストが相次いでいる。「BCP・事業リスク対策」分野ではBCP・BCM策定や運用支援をはじめ、あらゆるリスクへの対策提案が集結する。今回災害時の電気・エネルギー通信の確保をテーマにした「緊急時ライフライン確保」「働く人の安全・安心・快適を提案する」「労働安全・保安用品」を特別テーマに設定した。

この分野では、防災用折りたたみヘルメットのトヨセフティが継続出展を決めたほか、ボレーブランドジャパンはプレミアム保護メガネを初出展する。同じく初出展のSoilookによるガス漏れの可視化技術とスマート保安の提案にも注目したい。「緊急時ライフライン確保」からは、例年各社からさまざまな非常用電源が数多く出展されるが、今年はシーエフプラントがLPガスと都市ガスの使用が可能な非常用ガス発電機を、このほか省スペース

で危険物資格者不要の燃料タンクを提案する塚本、浄水器を出展するサイテックスの初出展も決定した。

セキュリティ

公共交通の安全対策 パブリックセーフティ

公共交通機関での無差別殺傷事件の記憶が新しいなか、パブリックスペースにおける安全対策が喫緊の課題となっている。本年の「セキュリティ」分野では、特別テーマとして「パブリックセーフティ」を新たに企画した。防犯カメラや非常通報装置などパブリックスペースでの安全対策提案を広く募集する。大阪万博を控えて、不特定多数が集まる大型イベントでの安全対策にも力が入る。3年後を見据え、本展に出展される新しいセキュリティ機器やサービスに期待が集まる。「非接触・タッチレス」「自動化・無人化・セルフ化」も特別テーマに掲げ、総合的なセキュリティを提案する。

クマヒラは入退室管理・隠匿物検知・AI画像解析の各種ソリューションを大型ブースに出展。スリーディーでは、海中フルHDカメラ、耐圧防爆カメラ、高温・炉内カメラ、広域監視・防犯カメラシステムを訴求する。初出展となるライカジオシステムはスキャン技術でパブリックセーフティを提案予定。サイロングジャパンは昨年引き続きサマルスコープの展示を準備中。



『危機管理』分野に新ビジネス・新マッチング続々と

DX・サイバー対策・ドローン活用・感染症対策 主要3分野を横断的に提案する注目企画

コロナウイルスによるパンデミックが始まって約2年半が経った。変化を繰り返すウイルスが世界中にまん延したが、最近ようやく落ち着いて来た。人々の生活やビジネスは、欧米を中心にWithコロナからAfterコロナへと変わっておりパンデミックからコロナ以前へと戻りつつある。コロナがもたらした影響は、人々の生活スタイルを大きく変えるとともに、ビジネスの面でもデジタル化がすすみ、AIやビッグデータを駆使した新たなスタイルへと変化した。「防災減災」「事業リスク」「セキュリティ」など危機管理分野でもデジタル化がすすみインターネットによる新しい危機管理システムがすすめられている。

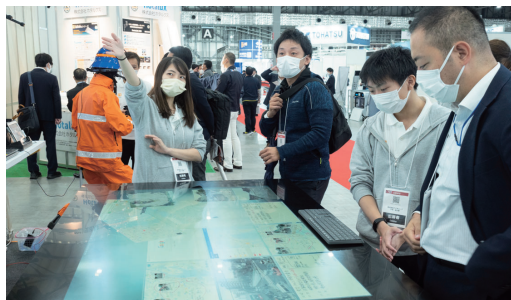
今回のRISC CONでは主要3分野における最新のテーマを取り上げ、これを横ぐしで据えた新しい企画を打ち出した。Afterコロナにおける注目の企画に関係各社からの積極的な出展が相次いでいる。

危機管理 DX・サイバー対策ソリューション

自治体・企業における

コロナ後の重要課題

自治体や企業では、加速する高齢化社会、人口減少などによる人手不足を踏まえ、コロナ禍において激変した新たな生活様式やビジネススタイルに対応したDX推進が緊急課題。DX推進と表裏体ともいえるサイバーセキュリティの取り組みが必須となっている。RISC CONでは「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」などの危機管理分野におけるロボット、AIなどのデジタル技術やビッグデータを活用した新サービスを提案。「危機管理DX」に加えて、DXとサイ



バーセキュリティ対策を同時に進める「DX with Cyber security」を打ち出した。危機管理に高い意識を持つ行政・自治体関係者や企業における経営層と新たな商談機会の創出をめざす。

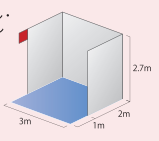
セキュリティ達成度の評価・可視化を提供するパロンゴが連続出展を決定。サプライチェーンリスク管理ツールを提案するResilireeが初出展。ホーチ、Spectreeは本分野で復帰を決めた。さまざまなDX提案と、サイバー対策ソリューションが集結する本企画の注目度が高まっている。

貴社のDX・サイバーセキュリティ提案を “見せて” “聴かせる” ことができる特別プラン

①出展ブース

9m²/小間(間口3m×奥行3m)

- サイドパネル・バックパネル
- 小間番号板



②出展者プレゼンテーション

■会場：会場内特設ステージ

または特設ルーム

■時間：45分または60分

■収容予定数：100名程度(予定)

※プレゼンテーション会場をご選択いただけます。
※講演実演は希望を受け付けますが、重複があった場合、事務局にて調整を行います。
※小間数に開くなら1社・1セッションとなります。



危機管理ドローン ソリューション

レベル4解禁 災害対策ドローンに期待

近年、我が国では自然災害による被害の影響が甚大となり、各自治体においては災害の即時対応が求められている。そうしたなか昨年6月に、2022年度に有人地帯での目視外飛行「レベル4」を実現させる航空法改正案が可決。防災分野へのドローン活用が拍車がかかる。災害時における被災状況・避難状況の把握や、被災地への医薬品の輸送、重要インフラの点検や監視など、ドローンの同分野への活用は多岐にわたって期待

されている。そうしたなか、日本UAS産業振興協議会(JUIDA)が危機管理ドローンソリューションに企画協力し、ブース出展・セミナー講演の両面で強力にバックアップすることが決定した。

危機管理分野に特化した本企画への注目度は高く、機体やタッチメントメーカー、通信会社、ドローンサービス会社など様々な分野で展示内容の検討が進められている。初出展のみならずは、産業用ドローンに搭載する自立制御と3Dマッピングシステムを、昨年、アナウンサードローンと認証システムの実演を行ったクオリティソフトは継続して出展する予定。

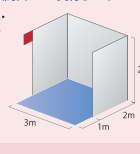
併催するテロ対策特殊装備展でも、ドローンソリューションは充実している。ロボティクス・センタージャパンではドローン・アンチドローンに関わる機材を展示。ソリッド・ソリューションズも継続出展を決め、東芝インフラシステムズはドローン検知・対処機器で出展準備を進めている。

貴社のドローン活用提案を 展示と実演の両方でPRできる特別プラン

①出展ブース

9m²/小間(間口3m×奥行3m)

- サイドパネル・バックパネル
- 小間番号板



②ドローン実演・体験コーナー

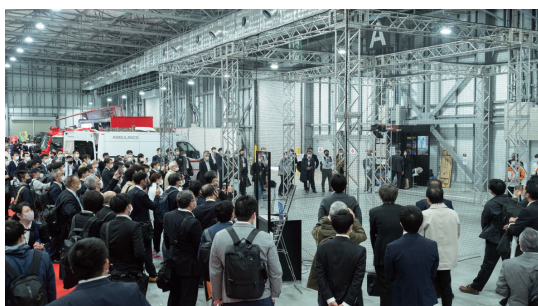
■会場：会場内 特設実演コーナー

■時間：30分/日(3日間)

※実演実演は希望を受け付けますが、重複があった場合、事務局にて調整を行います。
※小間数に開くなら1社・1セッションとなります。

今回、危機管理ドローンソリューションでは、自社ブースとは別に100㎡の実演コーナーを無

償で利用できる出展プランを用意した。実演コーナーでの各社のドローンプレゼンテーションも今回の注目企画となりそう。



感染症対策TECH

長期化するコロナ禍 求められるWithコロナ

新型コロナウイルス感染症は未だに感染拡大・縮小を繰り返しながら、私たちの経済活動に居座り続けている。国内でのワクチンの接種が進んでいるものの、世界の至る所で変異株が次々と発見され、感染拡大を防ぐ手段は今後もしばらくは欠かせない。

RISC CONでは、企画展として「感染症対策TECH」を設置。入退管理、飛沫感染予防、殺菌・除菌・抗菌製品など感染症対策の製品・サービスを展示する。エイブル山内が昨年に続き出展を決めたほか、感染防止衣、感染対策防護服などを扱うアイテックスは小間数を増やしての出展を決定。製品PRに更に力を入れる。感染空間急速消毒設備を展示するサンエナジーは今まで出展しなかった医療業界向けの展示会から切り口を変えて新たな分野での販路開拓を狙う。

併催企画/企画展 初出展者専用

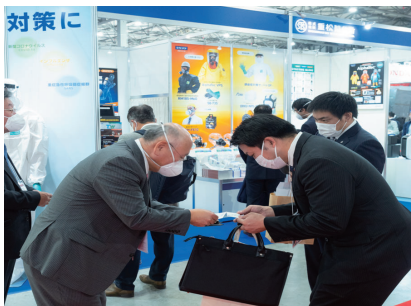
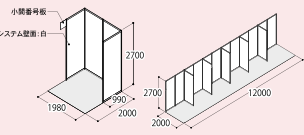
主催者特別プラン

出展料金:198,000円(税込)/1小間

4m²/小間(間口2m×奥行2m)

「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」
「危機管理ドローンソリューション」
「感染症対策TECH」のいずれかへ出展する
新規出展者限定の特別プランを設定します。

※過去にRISC CON、SEECATに出展実績がある企業はご利用できません。



主催者特別プラン 初出展者限定 併催企画特別プラン

本年のRISC CONでは「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」「危機管理ドローンソリューション」「感染症対策TECH」のいずれかの初出展者限定で、特別プランを用意している。事務局では、RISC CONへの初出展を検討している企業・団体の担当者には、特別プランも選択肢に含め積極的な参加を呼びかける。

RISCONならではの「体験」「マッチング」で来場誘致を徹底強化

リアル展示会の醍醐味
充実の企画が多数

RISCONでは、出展者・来場者参加型企画が多数用意されている。出展ブースでは難しい実演を約100㎡のスペースを使用してPRできる「危機管理実演・体験コーナー」は恒例企画のひとつ。来場者に製品を「体験」してもらおう場としても利用可能となっている。東京消防庁の協力によるVR震災体験も人気企画だ。また、前回は防衛省がCBRNEレスキュー実演を披露し多くの来場者から注目を集めた。「感染症対策サポーター」は、展示会場における感染症対策を実施するための重要な役割を担う。来場者を安心・安全に迎えるための会場づくりに向けて、主催者と出展者が感染症対策に一体となって取り組む。

出展者は「マッチング」機会の創出に「予約制商談専用ラウンジ」が利用可能。会期前に参加企業の提案内容を公開。じっくり商談に望みたいという来場者は事前に会期中の商談予約を行うことができる。

新企画の参加者も募集中。「セキュリティサポーター」は展示会場で活用可能なセキュリティ資機材を募集。会場内でスタッフが実際に活用することで製品PRに繋がる。「出展PR動画放映」は出展者より募集したPR用動画を会場内ラウンジでループ上映する。

毎年好評のセミナープログラムは今回更に充実する見込みだ。各分野の危機管理専門家による基調対談やシンポジウムなど、3日間で50セッション超の開催を予定。主要3分野の特別テーマや併催企画「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」「危機管理ドローンソリューション」「企画展「感染症対策TECH」と連動したセミナーも多数開催される。出展者プレゼンテーション（有料）もPR効果は絶大だ。一部のセミナーは会期後、公式Webサイトでの公開も予定している。

出展者・来場者マッチング企画募集中！

危機管理実演・体験コーナー

無料

展示会場内に出演者専用の実演スペース（約100㎡を予定）をご用意します。自社ブースでは実現できない広いスペースを存分に使ったデモンストレーションが可能となりますので、ぜひご利用ください。ロボットの実演、VR・AI活用提案、ウェアラブル機器体験、保安用品の装着体験、最新の避難・救助資機材などの実演が可能な出展者の参加を広く募集します。



募集内容：「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」に関わる製品・機器の実演

例) ●危機管理分野におけるロボット活用提案

- 危機管理分野におけるAI技術やVR技術の活用における実演
- 災害時における避難・救助に関わる資機材・サービスなどの実演
- セキュリティに関する資機材・サービスなどの実演
- 労働安全に関わる資機材・サービスなどの実演

実演時間：各社1枠30分（準備から撤去までを含む）

予約制商談専用ラウンジ

無料

出展者と来場者の商談・マッチング促進を強化するため、展示会場内に予約制の商談専用ラウンジを設置します。毎年RISCONにはBCP策定・見直し・運用相談はもちろん、感染症対策や新しい働き方の提案、サイバーセキュリティ対策やデジタル化・DX推進提案など、官民のあらゆる業界の担当者から「危機管理」に関わるさまざまな課題やリクエストが寄せられています。多様化するリスクに対するさまざまな相談に対応できるよう、幅広く出展者の参加を募集します。



募集内容：出展者より提案可能な製品・サービス全般

例) ●BCP・BCM策定・見直し・運用提案

- 感染症対策に関する提案・サービス
- ワークスタイル変革、労務リスク管理に関する提案・サービス
- サイバーセキュリティに関する提案・サービス
- デジタル化・DX推進に関する提案・サービス

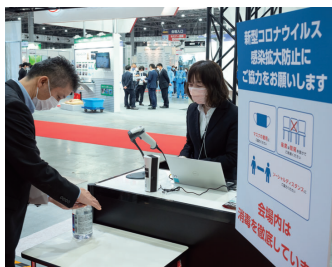
受付方法：事前または当日予約制 1日最大6枠（1枠60分）/社

※公式Webサイトにて、出展者が提案可能な製品やサービスを相談プログラムとして公開。
会期前、会期中に来場者から商談の事前予約を受け付けます。

感染症対策サポーター

無料

RISCONでは、主催者と出展者が一体となってさまざまな感染症対策に取り組み、安全・安心な展示会として来場者の皆さまをお迎えたいと考えています。対策の一環として全来場者が通過する会場入口などで、運営スタッフが出展者の皆さまよりご提供いただいた感染症対策資材や機器などを活用し紹介することで、さらなる対策の強化を図ります。また、来場者の皆さまへ配布する感染症対策製品なども募集します。



募集内容：運営スタッフが使用する感染症対策資材・機器および配布品の提供

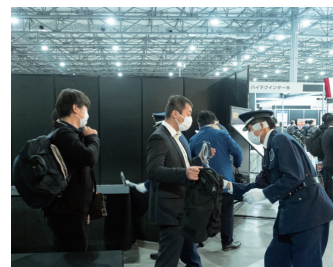
例) ●マスク、手袋、フェイスガードなどの配布品

- 手洗い、手指消毒・除菌剤関連製品
- 飛沫感染防止に関する製品・機器・サービス（飛沫感染防止用カーテン、シート、フィルムなど）
- 「非接触」に関する製品・機器・サービス（サーモグラフィー発熱者感知システム、非接触体温計など）
- ソーシャルディスタンス確保を周知するためのサイン、ステッカーなど

セキュリティサポーター

無料

RISCONでは、展示会場で活用可能なセキュリティ資機材を募集します。全来場者が通過する会場入口などで出展者の皆さまよりご提供いただいたセキュリティ関連製品を設置・運用することで、ブース展示とは異なる形での製品紹介、PRの機会を設けます。展示会場のセキュリティ対策に貢献する警備用資機材や警備ロボット、AI監視システムなど、最先端のセキュリティ提案のデモンストレーションに最適です。



募集内容：展示会場で使用可能なセキュリティ資材・機器

例) ●生体認証

- 金属探知機
- X線検査装置
- 警備ロボット、リモート監視システム、AI監視システム、入退管理システム
- 警備用護身用具（警戒棒、警戒杖、さすまた、防弾チョッキなど）
- 簡易フェンス、コーン、デジタルサイネージ等

出展PR動画放映（ラウンジ内）

無料

会場内ラウンジのディスプレイにて、出展者より募集したPR動画のループ上映を行います。会期中、多くの来場者が利用するラウンジエリアにて展示製品・サービスのPRを行うことで、自社出展ブースへの来訪を喚起します。



募集内容：出展製品・サービスの紹介や会社紹介等の動画

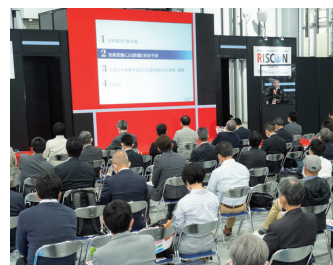
時間：最大5分
容量：1GB以内

出展者プレゼンテーション

有料

展示会場内のセミナー会場を使用した製品・サービスのプレゼンテーションが可能です。自社のPR方法に合わせてステージ/ルームの2会場から選択可能です。

会場：【ステージ】定員：100名（予定）
利用時間：45分/1セッション
【ルーム】定員：80名（予定）
利用時間：60分/1セッション
備品：スクリーン、プロジェクター、演台、マイク、聴講者用イス（予定）
利用料金：165,000円（税込）



SEECAT
Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism

RISCON TOKYO 特別併催企画展

テロ対策特殊装備展'22

Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism

10.5(土)・10.7(日) 東京ビッグサイト 西ホール



発行元: SEECAT事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内

Tel. 03-3503-7641 Fax. 03-3503-7620

E-Mail ofc@seecat.biz

www.seecat.biz

激動の世界情勢で「テロ対策」の専門展に注目集まる

重要インフラ・施設を守る安心・安全技術が集結 大阪・関西万博へ向けたマッチングもスタート

RISCONのセキュリティ分野と併せて注目が集まるのが国内唯一のテロ対策専門展示会「テロ対策特殊装備展(SEECAAT)」。

重要インフラや政府機関を狙った国際テロが絶えない昨今、国内では公共交通機関をターゲットとした凶悪犯罪が相次いでおり、より高度なテロ対策が要求されるようになってきている。

「東京2020」の開催を終え、2025年の大阪・関西万博に向けたセキュリティ・テロ対策関連の資機材の新たな商談もスタートする。最近ではコロナ禍での混乱に乗じて、政府や企業をターゲットとしたサイバー攻撃が多発。今回のSEECAATでは「重要インフラ向けのサイバー防衛」を特別テーマに設定し、ハード・ソフト両面でテロ対策にフォーカスした技術が揃う。

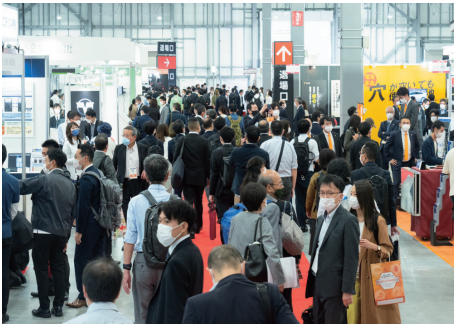
最新のテロ対策資機材が集結 昨年を大きく上回るペース

警察・消防・自衛隊・税関などの治安関係者、政府・自治体関係者、重要インフラ関係者に来場を限定したクロージングショーとして開催する本展は、出展者の最新のテロ対策資機材の展示に加え、関係機関による専門セミナーを実施。関係者必見の展示会となっている。今秋の開催に向けて続々と出展が決定。来場者限定のクロージングショーだからこそ実現する確実なマッチングは出展者にとって大きなメリットとなっており、リピート出展率が高いのも大きな特長だ。



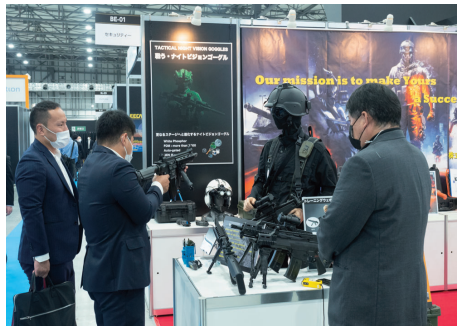
近年注目が高まってきたEMP(電磁パルス)対策には日本オートマテック・コントロール、テクノサイエンスシステムの出展が決定。軍事訓練用シミュレーションソフトウェアを提案するBohemia Interact

ive Simulations、危険物探査や違法通信監視用製品のデモを実施予定のRSダイナミック、様々な防衛装備品を紹介するソリッド・ソリューションズ、またも技術を進化し社会に貢献する日本工機、ウッズはフェンス侵入監視・海上警戒と自動撮影を提案する。エーティコミュニケーションズの報道海外派遣災害衛星通信用超小型アンテナ、ノリリーサルウェポン高輝度サーチライトを出展するジャパンセル、ドローンや無線システム等の最新器材展示の日本海洋、爆薬等の危険物を迅速探知できる携帯型機材を提案するリガク、セキュリティ、ハイテクインターなどのテロ対策機器の常連組も早々に継続出展を決定した。



監視・警戒・解析システムの分野からは迫る危機を可視化する新型Zero-Xを出展するソリトンシステムズ、SARを含めレーダーを設計製造するアルウェット

テクノロジ、重要施設向け警戒・警備用セキュリティ機器を提案するオブテックス、検出能力を強化した高感度赤外線カメラを出展するケン・オートメーションなど復活出展も含め続々と決定。初出展からは危険物・爆発物・薬物を安全かつ素早く検知するメトリムジャパン、米国防務企業のMILITARYに注目したい。



特別テーマ 重要インフラのサイバー防衛

各国で重要インフラをターゲットにしたサイバー攻撃が多発している。昨年のアメリカ石油大手企業のサイバー攻撃にによるパイプライン停止は記憶に新しい。日本の大手企業を狙ったサイバー攻撃も後を絶たない。政府は情報通信、金融、電力、ガス、医療などの重要インフラ14業種におけるサイバー攻撃への体制強化とサプライチェーンで使用する機器の安全

確保について要請し、官民における防御態勢を強化する方針だ。今秋のSEECAATでは「重要インフラのサイバー防衛」を特別テーマとして設定。重要インフラ関係者との確実なマッチングを支援する。

4つのテーマ展示にも注目 テロ対策における 重点課題がキーワード

今秋のSEECAATでは、「港湾警戒・水際対策」、「ソフトターゲットテロ対策」、「ロボット/ドローン活用・対策」、「CBRNEテロ対策」を重点課題としてピックアップして集中展示する。

大阪・関西万博会場も海に囲まれており、アルゴ、東陽テクノカの水際対策ソリューションに関心が集まる。ハナイの簡易設置できるテロ・誤進入対策用車両停止装置やロボティクス・センタージャパンのドローン・アンチドローン・セキュリティ全般機材にも注目したい。

セキュリティ分野充実へ RISCON/SEECAAT の融合

テロ対策に関わるカメラや装備品、サイバー対策、最新技術を駆使したテロ対策まで注目のセキュリティ分野。入場審査により治安関係者や重要インフラ関係者に来場を限定したSEECAATと、地方自治体や一般企業までのあらゆる業界との交流が可能なRISCONが融合。セキュリティ関係者必見の展示会は、出展者と来場者のポイントで確実なマッチングを実現する。出展者は自社製品の特長やソリューション内容に合わせて展示会を選択することで効果的なPRが可能。今回、日本海洋、エスアンドカンパニーは両展示会への出展を決めた。SEECAATからRISCONへ変更したクマヒラリスにはRISCON来場者の注目が集まりそうだ。

出展検討中の企業も多数あり、次号では今回紹介しきれなかった出展者を一挙公開予定。出展者が出揃うのは7月末頃となりそうだ。

Risk Control In Tokyo RISCON TOKYO 危機管理産業展2022 Security & Safety Trade Expo	自然災害に備える 防災・減災 特別テーマ 災害に強いまちづくり 気象災害対策 避難所・備蓄品・帰宅困難者対策	あらゆるリスクを考える BCP・事業リスク対策 特別テーマ 緊急時ライフライン確保 労働安全・保安用品	犯罪・事故から守る セキュリティ 特別テーマ ハブリンクセキュリティ 非接触・タッチレス 自動化・無人化・セルフ化	国内唯一の 「テロ対策」専門展示会 —RISCON TOKYO 特別併催企画展— SEECAT Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism テロ対策特殊装備展'22
「主要3分野」を横断的に提案				
NEW コロナ後の自治体・企業の最重要課題		併催企画 危機管理DX・サイバー対策ソリューション		
NEW 広がる危機管理分野へのドローン活用		併催企画 危機管理ドローンソリューション		
経済活動の現場にフォーカスした感染症対策を提案		企画展 感染症対策 TECH		